

あわら 市議会だより



第70号

令和3年11月15日 発行

あ、あ、あ、

ああ、あわら贅沢。
議会にはないぜいたくがあるまち

とみつ金時収穫風景

9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	5p
請願・陳情・意見書等	10p
議案と結果	11p
ふるさと探訪	12p



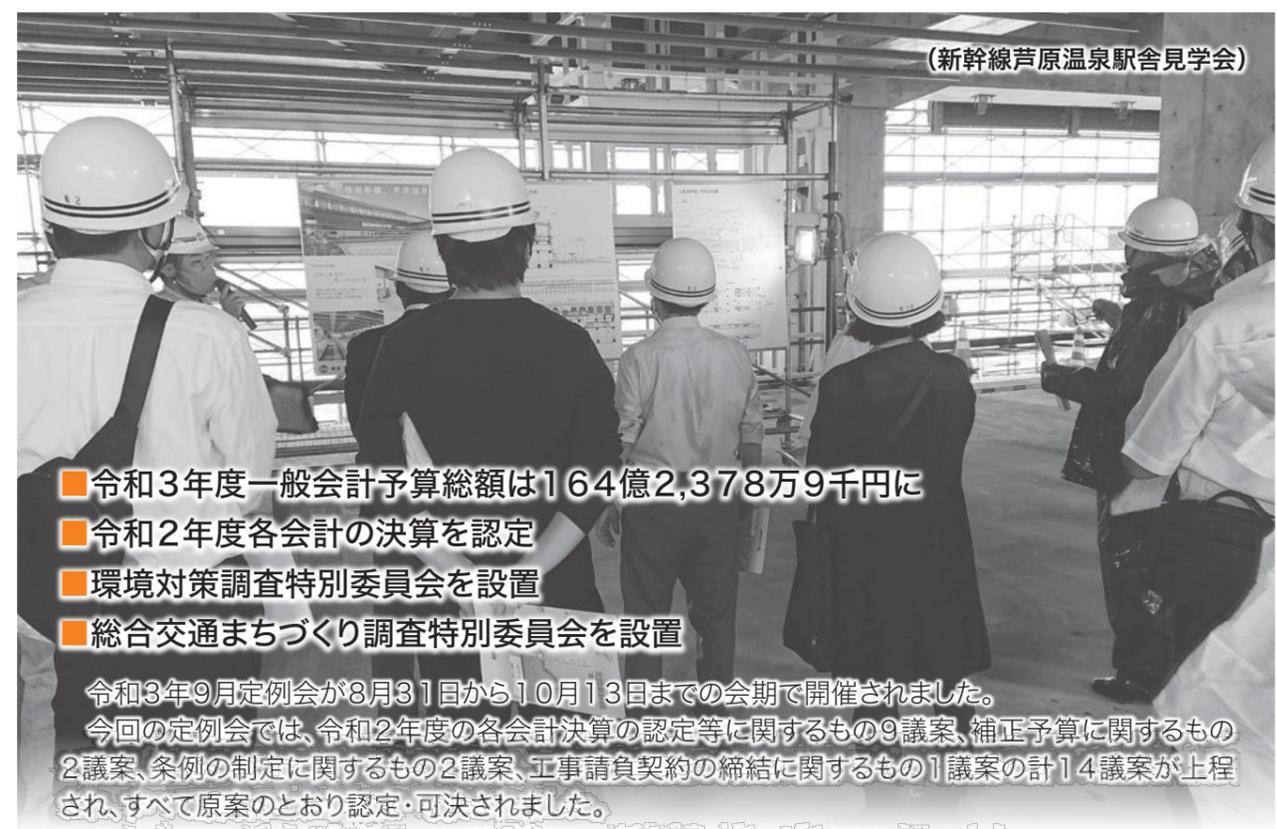
議会の様子がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

9月定例会 令和3年度一般会計補正予算(第6号) 2億2,899万3千円を増額 令和3年度一般会計補正予算(第7号) 8,000万円を増額



(新幹線芦原温泉駅舎見学会)

- 令和3年度一般会計予算総額は164億2,378万9千円に
- 令和2年度各会計の決算を認定
- 環境対策調査特別委員会を設置
- 総合交通まちづくり調査特別委員会を設置

令和3年9月定例会が8月31日から10月13日までの会期で開催されました。今回の定例会では、令和2年度の各会計決算の認定等に関するもの9議案、補正予算に関するもの2議案、条例の制定に関するもの2議案、工事請負契約の締結に関するもの1議案の計14議案が上程され、すべて原案のとおり認定・可決されました。

なお、今回は10人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、議員発議による意見書の提出に関するもの2議案、会議規則の一部を改正するもの1議案、特別委員会の設置に関するもの2議案の計5議案を可決し、陳情1件を採択としました。

特別委員会 構成

環境対策調査特別委員会 (7人)	委員長 山川 知一郎	副委員長 毛利 純雄
	委員 木下 勇二 吉田 太一	北浦 博憲 平野 時夫 卯目ひろみ
総合交通まちづくり調査 特別委員会 (8人)	委員長 笹原 幸信	副委員長 青柳 篤始
	委員 三上 寛了 室谷陽一郎	島田 俊哉 堀田あけみ 八木 秀雄 北島 登

予算決算常任委員会

令和3年度
一般会計補正予算

■総務課
一般管理経費
1千500万円増額

会計年度任用職員に係る管理業務の負担軽減、効率化を図るためのシステム構築に要する経費を補正計上するものです。
委員 委託料の内訳はどのようなものか。
理事者 システム、ソフトウェア等の購入費用、構築にかかる作業費用等も想定して予算を計上しています。

■福祉課
障害者自立支援
給付事業
1千42万6千円増額

委員 国庫負担返還金について、コロナ禍でサー

ビスの提供を受けることを控えて、給付が減ったということはないのか。
理事者 直接的なコロナ禍の影響はないと考えています。

■観光振興課
指定管理経費
308万円増額

セントピアあわらの指定管理者が行う改修等に関する費用の一部負担のため補正計上するものです。
委員 火災保険の共済金分について、指定管理料の増額となっているが、市からの補助金ではないのか。

■建設課
防災・安全社会資本
整備総合交付金
76万円減額

委員 交通安全施設の工事を途中で打ち切るのか、それとも翌年に送るのか。
理事者 今回できない部分分が20mあり、その分については、来年度に予算計上し、引き続き事業を進めます。

■新幹線まちづくり課
都市構造再編集
支援事業補助金
市道105号線改良工事
5千381万4千円増額

委員 PCの製作に2、3か月要するため、それまでに下部工を終わらせるといふことだったが、現場打ちではないので、PCだけ別発注するのか。

■教育総務課
通学援助経費
55万2千円増額

理事者 上部工について、PCのみ別発注するのでなく、柵、舗装、高欄をまとめて発注する予定です。

小学校、中学校のスクールバス（スクールバス）の更新に要する経費です。
委員 スクールバスは何台あり、更新するのはどの学校のスクールバスか。更新しないスクールバスは問題がないのか。
理事者 スクールバスは3台あり、今回更新するのは、金津東小学校と芦原中学校で、残る1台は金津中学校の吉崎ルートを走るバスで、昨年更新しています。

知ってる？
みなさん

ちょっと役立つ 知識

政治家のルール

年始の挨拶に欠かせない年賀状ですが、政治家が自身の「選挙区内にある者」に、年賀状や寒中見舞状、クリスマスカードなどの「あいさつ状」を出すことは公職選挙法で禁止されています(あいさつ状の禁止)。

※ただし、年賀状を受け取ることはでき、また、その答礼としての返事を出すことは「自筆によるもの」に限り認められています。

市政について問う!

9月の定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

■木下 勇二 議員

- シルバー人材センターの事業運営支援について
- 市内小学生の通学路の安全確保について
- 土砂災害対策について

■吉田 太一 議員

- スマートシティに向けて
- 市長1期目の自己評価と次期の市政抱負について

■北浦 博憲 議員

- 北潟湖周遊サイクリングロードの早期実現について
- 自主防災組織への支援について
- あわら市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積行為の規制に関する条例、いわゆる「残土条例」の見直しについて

■堀田あけみ 議員

- 生理の貧困について
- 選挙投票率について

■青柳 篤始 議員

- コロナ禍における地域振興券の発行について
- 企業への就職支援(人材不足解消)について

■平野 時夫 議員

- 脱炭素化施策について
- 市営住宅と土地利用について
- スケートボードの練習用の施設について

■室谷陽一郎 議員

- 道の駅「蓮如の里あわら」整備計画について

■三上 寛了 議員

- あわら市の長期ビジョンについて
- 市政の見える化と課題解決の促進について

■島田 俊哉 議員

- 地方創生応援税制への取り組みについて
- 芦原温泉上水道財産区水道事業の状況について

■山川知一郎 議員

- 平和行政の推進について
- 国民健康保険税について

インターネット中継で一般質問をご覧になれます▶



総務厚生常任委員会

あわら市職員の職務の宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定

各種行政手続の簡素化、効率化を実現し、行政改革を推進するため押印見直しを行う所要の改正を行うもので、委員からは特段の質疑はありませんでした。

議案外の件

市税等徴収実績

委員 法人税の現年度分が前年同期に比べ、調定で1億減っているのか。
理事者 そのとおりです。法人税は、各企業の決算日を基準として確定分として入ってくるものです。今般のコロナ禍において決算が遅れている企業があることも前年同期比で減っている原因です。

廃業した旅館の現状と課題について

委員 新幹線開通に向けて、廃業した旅館が1番目立つ。これを早急になんとかしないといけないと思うが、どう考えているか。
理事者 空家等対策協議会にも諮っており、他市の手法を取り入れるなど何らかの手法で新幹線開業までに綺麗にできないかと考えています。

マイナンバーカード交付状況について

委員 各行政区の区長にも推進していると思うが、申し出れば各区に来てもらえるのか。
理事者 申請についてはもちろんですが、出来上がったカードについても会場にお持ちします。

産業建設教育常任委員会

あわら市道路の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅客特定車両停留施設に関する基準の新設等の所要の改正を行うもので、委員からは特段の質疑はありませんでした。

議案外の件

有害鳥獣捕獲事業実施状況について

委員 カラスは、これから増えてくるので、緩めずにそのまま継続的にやっていたきたい。
また、鳥獣害対策協議会からはどんな意見が出ているのか。
理事者 引き続き警戒していきます。



一般県道トリムパークかなづ線バイパス整備に伴う市道への移管について

委員 後年度に市の負担にならないように完全な形で移管してもらってほしい。
理事者 この路線は、元々市道でしたので、県にどこまでやってもらえるかなかなか難しいところですが、十分に協議、要望していきます。

協議会からの要望として、若手の後継者の育成などについて伺っており、捕獲の資格の補助などを今年度行っています。

議案外の件(道の駅関連)

委員 全体の総事業費で市の負担額が4億110万5千円になり、合併特例債を一部充予定とあるが、合併特例債の一部を充当するのか、市負担額の全てに充当するのか。
理事者 合併特例債の残高は、3億3千800万円です。令和5年度までしか使えませんので、令和4年度の予算編成はその残りをどう使うかを決め、他に充当すべき事業がなければ全額充当もあり得ます。
委員 心配なのは今後持続してやっていけるのかどうかである。特に、物販施設はきららの丘と競合してしまうのではとの心配もあるので、慎重にやってほしい。
理事者 大事になってくるのは指定管理予定者、あるいはそこに入る駅長がどう考えるかです。選定はしっかり慎重にやっ

シルバー人材センターの事業運営支援について 市内小学生の通学路の安全確保について

シルバー人材センターの事業運営支援について

木下 コロナ禍でシルバー人材センターの事業運営が大変苦しくなっているが、事業運営補助金の増額ができないか。
また、会員募集を市広報で掲載できないか。

市内小学生の通学路の安全確保について

木下 千葉県八街市での小学生の死傷事故を受けて、国は通学路合同点検実施要領を作成したが、市はどのような合同点検計画となっているか。
教育長 国の実施要領の発出を受けて既に合同点検を実施し、今後は歩道や横断歩道の設置を道路管理者等に求めていきます。

木下 市の令和4年度予算編成にあたり、市



木下 勇二 議員

の運行の現状はどうなっているか。
また、児童の交通安全と防犯対策の観点からスクールバス運行区域の拡大を検討してはどうか。

教育長 現在、スクールバスは小学校の休校や統合により遠距離通学となった区域を対象に運行しています。
区域拡大については、国のスクールバス運行構想もありますので、今後とも国や県、近隣自治体の動きを注視していきます。



※その他、土砂災害対策について質問しました。

スマートシティに向けて 市長1期目の自己評価と 次期の市政抱負について

デジタル技術を活かした生活の改善の考えは

吉田 デジタル技術を生かした防災、交通、福祉、医療、教育、行政などの生活改善の考え方と今後の進め方はどうなっているか。

次期に向けての決意は

吉田 あわらし市をどのようなまちにしていきたいのか。また、その展望と決意はどうか。

市長 防災や交通におけるDXの取組として、例えばカメラやセンサーによる防災情報の取得、AIを活用した避難支援など、地域防災・防犯における活用や、ICTやIoTを活用し、市民の買物や交通における利便性の向上などが考えられます。

なお、地域格差のない高速通信網が不可欠と考えており、現在、市内

全域をカバーするWi-Fi6を用いた高速無線通信網の整備を進めています。

意味を込めています。

これら三つを柱として、あわらしが大きく飛躍できるよう、施策に誠実に取り組んでいきたいと考えています。

10年後、20年後をしっかりと見据え、一人一人が笑顔で元気に暮らせる、誰もがときめく活力あるあわらしを目指し、不転の決意で、引き続き職員と共に全力で取り組んでいきます。

市長 一つ、北陸新幹線開業効果の最大化と活用。二つ、DXによる働き方改革。三つ、市民の感幸、活力創造活動の推進。

この「感幸」というのは、通常の観光産業の「観光」ではなく、幸せを感じるという感幸で、自身が幸せを感じるとか、人々を幸せにするという

意を込めています。これら三つを柱として、あわらしが大きく飛躍できるよう、施策に誠実に取り組んでいきたいと考えています。

吉田 これからも議会が協力できるような、しっかりと説明をいただき、これまで市長が立案、企画した事業、また継続していく事業など、途中で途切れることのないよう、しっかりと今後も取り組んでほしい。



吉田 太一 議員

北潟湖周遊サイクリング ロードの早期実現 自主防災組織への支援 いわゆる「残土条例」の見直し

北潟湖周遊サイクリングロードの早期実現

北浦 国道305号沿いコース2.0kmが未整備になっている。その区間にある地籍混乱地の解消に早急に取り組むべきではないか。

土木部理事 公図がない土地、公図に境界がない土地などの地籍混乱地があります。まずは、混乱地の解消方法について県や市の役割分担を確認し、地元の方々と協力しながら、着実に本事業を進めてまいります。

市長 地籍混乱地の解消は簡単ではありませんが、できるだけ早く整備できればと思っています。

自主防災組織への支援

北浦 台風や豪雨時の自主避難所、地震災害時の一時避難場所（地域内広場等）の運営の手引きが必要ではないか。

また、公民館等の指定避難所を自主避難所として活用することはできないか。

総務部長 自主避難所は、11月の市総合防災訓練までに作成いたしました。また、自主避難希望者が多数となる場合等には、市として学校や公民館等の指定避難所を自主避難所として開設いたします。

いわゆる「残土条例」の見直し

北浦 違法な高さの盛土や汚染された建設残土の搬入を地域住民は危惧している。いわゆる「残土条例」を見直すべきではないか。

土木部理事 盛土時の斜面の崩落等に対する形状的な規制は十分に考えています。

なお、環境保全の観点から、安全基準に適合しない土砂の搬入を未然に防ぐチェック体制の在り方や、今後は、検査の対象とする事業の規模やそれぞれの検査頻度、それから土地所有者の責務等について、環境関係部署の意見も聞きながら、検討していきます。



北浦 博憲 議員

生理の貧困について 選挙投票率について

生理の貧困について

堀田 市内の小中学校において、生理用品を保健室ではなく、女子トイレに整備すべきと考えるがどうか。

教育部長 教育委員会では、教育的見地と児童・生徒とのコミュニケーションを考慮して、今

まで通り保健室で手渡ししたいと考えています。
堀田 児童・生徒の申し出があれば要望に応じて必要なだけ周知することができるよう周知できないか。

教育部長 申し出れば、必要なときに必要な量をもたらすことができるというのを、改めて周知していきたく思います。
堀田 経済的な困窮やネグレクトが原因で、

生理用品を十分に手に入れる事が出来ない若い世代が増えてきている。プライバシーを守りながら必要な人に渡せるような仕組みづくりは考えているか。

副市長 9月1日から市姫荘、市役所福祉課、中央公民館、湯のまち公民館で都度、必要数を配布しています。

なお、プライバシーに配慮するため、配布を希望するマークを定め、スリーブに表示するか、指差しにて確認するようにしています。

堀田 避難所に生理用品は備蓄されているか。
副市長 必要最低限の生理用品や紙おむつの備蓄について早急に検討

しています。

選挙投票率について

堀田 あわらし市の投票率が下がってきているが、対策は考えているのか。

総務部長 期日前投票所で記載していた宣誓書を入場券に印字し、事前にお渡しするなど、投票しやすい環境を整えていきたいと考えています。

堀田 学生への啓発活動はどのように行っているか。
総務部長 小学校では出前授業、模擬投票、高校では選挙管理委員会書記が講師となり主催者教育を実施しています。こうした、将来の有権者である子どもたちの政治参加への意識の醸成を図っています。

また、売上げの減少している小規模事業者に

地域振興券の発行と 経済支援策 既存の制度を活かした、 横断的な制度運用

地域振興券の発行と経済支援策

青柳 長引くコロナ禍やネットショッピングの普及によって、地元商店会は苦境に立たされており、市民への影響も看過できない状況にある。そのため地域経済の活性化策として、地域振興券の発行をお願いしたい。

特に、経済効果を高めるため、従来通りの紙の商品券が望ましい。

市長 今年12月1日から来年の2月13日までの75日間を利用期間とする年末年始のプレミアム付商品券の発行事業、事業費5千万円を考えています。

また、売上げの減少している小規模事業者に

自主防災組織への支援

北浦 台風や豪雨時の自主避難所、地震災害時の一時避難場所（地域内広場等）の運営の手引きが必要ではないか。

また、公民館等の指定避難所を自主避難所として活用することはできないか。

総務部長 自主避難所は、11月の市総合防災訓練までに作成いたしました。また、自主避難希望者が多数となる場合等には、市として学校や公民館等の指定避難所を自主避難所として開設いたします。

いわゆる「残土条例」の見直し

北浦 違法な高さの盛土や汚染された建設残土の搬入を地域住民は危惧している。いわゆる「残土条例」を見直すべきではないか。

土木部理事 盛土時の斜面の崩落等に対する形状的な規制は十分に考えています。

なお、環境保全の観点から、安全基準に適合しない土砂の搬入を未然に防ぐチェック体制の在り方や、今後は、検査の対象とする事業の規模やそれぞれの検査頻度、それから土地所有者の責務等について、環境関係部署の意見も聞きながら、検討していきます。



青柳 篤始 議員

対して、昨年春に実施したものと同様に、1事業者当たり5万円を給付する事業者応援給付金事業、事業費3千万円を10月から12月にかけて実施することを考えています。

※後の本会議で可決されました。

青柳 現在、多くの企業が人材不足の悩みを抱えている。あわらしにも企業に対しての様々な支援制度が存在するが、助成金の二重取りは駄目だとか、助成金ごとに違う課など、制約が多いと感じる。そこで、課を横断した

既存の制度を活かした、横断的な制度運用

ワンストップでの支援を可能にすれば、既存の助成制度でも十分な武器となり得る企業への提案ができるかと考える。

見方、考え方、視点を変えるだけで、さらに充実した行政サービスが実現できるのではないかと考えています。

経済産業部長 関係各課の連携を深め、各支援制度の見直しや充実を図っていくとともに、広くPR活動に努めていきます。

青柳 数字として表れない部分の積み重ねが、あわらしに携わるすべての方々の生活の基盤を押し上げるものだとは信じている。

今後のあわらしに大変期待しているため、私も持てるもの全てをここに投じたい。

脱炭素化施策について 市営住宅と土地利用 スケートボード練習用 施設について

脱炭素化施策

平野 市の環境基本計画改訂版並びに温暖化対策推進の具体的な行動目標はあるか。

市長 平成19年度に第1次計画を策定し、計画期間は20年間となつています。現在は、策定委員会を設置し、今年度新たに第2次計画を作成しているところで、行動目標については、新たな計画に掲げたいと考えています。

平野 市は、「気候非常事態宣言」と「ゼロカーボンシティ宣言」を打ち出さないのか。

市長 今のところ第2次計画の策定に合わせ、ゼロカーボンシティを表明する考えです。

市営住宅と土地利用

平野 老朽化した木造の市営住宅は、耐用年数、建築基本法上、公営住宅法上問題はないか。

土木部長 法的に問題はありますが、自然災害の面からは、倒壊の危険性は極めて高いです。

平野 現住者の移転の見通しと、何かあった際の責任はどうなっているか。

土木部長 老朽化が著しい木造住宅への入居者に対しては、重点的にほかの市営住宅への住み替えをお願いしています。円滑に住み替えができるよう、より一層の支援を検討します。

また、建物崩壊などにより入居者に何かあった場合は、その状況に応じて市が責任を負うことになると考えています。

平野 南中央線の整備に合わせたの再開発計画と、高齢者用福祉住宅の整備をすべきである。

土木部長 木造住宅の解体が完了した後には、土地の返還について所有者と協議したいと考えています。

健康福祉部長 新たな施設の整備計画はありません。

スケートボード練習用の施設 安全な練習用の施設の整備をしないのか。

平野 現時点では考えていませんが、今後検討します。

教育部長 現時点では考えていませんが、今後検討します。



平野 時夫 議員

場合は、その状況に応じて市が責任を負うことになると考えています。

平野 南中央線の整備に合わせたの再開発計画と、高齢者用福祉住宅の整備をすべきである。

土木部長 木造住宅の解体が完了した後には、土地の返還について所有者と協議したいと考えています。

健康福祉部長 新たな施設の整備計画はありません。

スケートボード練習用の施設 安全な練習用の施設の整備をしないのか。

平野 現時点では考えていませんが、今後検討します。

教育部長 現時点では考えていませんが、今後検討します。



三上 寛了 議員

いくことは可能か。また、シビックテックのような市民主体の課題解決の取組に市として協力できるか。

創造戦略部長 オープンデータ化については、現在策定中のDX推進基本計画に基づくアクションプログラムにおいて具体的な検討を進めていきたいと考えています。

また、市民が積極的に行政に参画するシビックテックの動きは、複雑化、多様化する近年の行政需要に的確に対応していくために、大いに歓迎すべきものと考えています。

また、市民が積極的に行政に参画するシビックテックの動きは、複雑化、多様化する近年の行政需要に的確に対応していくために、大いに歓迎すべきものと考えています。

また、市民が積極的に行政に参画するシビックテックの動きは、複雑化、多様化する近年の行政需要に的確に対応していくために、大いに歓迎すべきものと考えています。



市政の見える化と課題解決の促進について

三上 5年待つのではない、5年後の策定を目指した議論を重ねていくことはできないか。

副市長 令和7年度の2年程前から準備を進

道の駅 「蓮如の里あわらし」 について

利用推計・運営管理について

室谷 道の駅「蓮如の里あわらし」の基本設計では道の駅利用者・利用台数をどれほどと推計しているか。

また、農産物直売・物販施設、飲食施設での売上額を幾らと推計しているか。

市長 県内同規模交通量の道の駅利用者数を参考に年間36万人と推計し、利用台数は、年間11万6千台と推計しました。

また、県内道の駅の売場面積当たりの売上データから、年間約1億3千万円の売上額を推計しています。

室谷 年間の利用者推



室谷 陽一郎 議員

計36万人とすると、ざっと1日平均1千人の利用者となる。なかなか厳しい利用者推計ではないか。

市長 いろんなイベント等も含めての推計で、周辺とも連携しなければ、安心して集まるものでないことは十分認識しています。

室谷 道の駅「蓮如の里あわらし」の収支計算書シミュレーションで指定管理料が1千3百万円とある。仮に物販・飲食等の売上げがシミュレーションどおりに上がらず営業利益で赤字が続く場合には、一般会計から補填する考えか。

副市長 物販や飲食の事業は、指定管理者における自主事業で収益事

業です。ここでの赤字については、指定管理者における会計の中で処理することが基本であると考えています。

室谷 道の駅「蓮如の里あわらし」の総事業費は、また、その財政見通しは。

創造戦略部長 道の駅に関連する総事業費は7億8千万円です。市負担額は約4億円となり、合併特例債を幾らか充てる見通しです。

室谷 道の駅は地域振興や地域活性化のためにあるが、将来において市の財政負担にならないかと危惧する。今後事業を注視していきたい。

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について 若原温泉上水道財産区 水道事業について

企業版ふるさと納税について

島田 平成28年に創設された制度であり、あわらし市も令和2年度に内閣府より認定を受け、寄付の受け皿を整備したが、その後の取組状況はどうか。

創造戦略部長 これまで市外企業への寄附の働きかけはできていない状況です。

島田 寄付を受けた全国の自治体数や寄附額は大きく増加しており、坂井市や加賀市でも、寄付を受ける努力をしている。

他の自治体に後塵を拝することなく、もっとスピード感を持って取り組み、持続可能なまちづくりの実現を図るべき



島田 俊哉 議員

ではないか。**市長** 通常の個人のふるさと納税について力を入れるように指示しているが、今後は、企業版ふるさと納税についても、体制を整え、寄付をいただけるよう頑張っていきたいと思います。

なお、県水受水費の負担が最大の懸念であり、負担割合の見直しを市へ求めています。

島田 市長は、財産区の負担割合の見直しなど、何らかの決着を図る考えはあるのか。

市長 今後、責任水量などについて県から回答が得られれば、それを機に確認書の再締結を考えています。それ以前に財産区が経営危機となれば、市としても支援します。



また、経営上の懸案事項は何か。**財産区管理者** 赤字の責任は痛感していますが、市上水道との統合は考えていません。

議員と語ろう会中止のお知らせ

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、春と秋の年2回議員と語ろう会を開催していますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、春に続き、秋の議員と語ろう会も中止とさせていただきます。



令和3年8月 第108回 あわら市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 △…棄権 -…欠席等 ※議長(山田 重喜)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	三上 寛了	青柳 篤始	島田 俊哉	木下 勇二	北浦 博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	山田 重喜	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	卯目ひろみ
市長提出議案	令和3年度あわら市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	あわら市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○

令和3年9月 第109回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 △…棄権 -…欠席等 ※議長(山田 重喜)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	三上 寛了	青柳 篤始	島田 俊哉	木下 勇二	北浦 博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	山田 重喜	八木 秀雄	笹原 幸信	山川知一郎	北島 登	卯目ひろみ
市長提出議案	令和2年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	x	○	○
	令和2年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	x	○	○
	令和2年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市公共下水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	x	x	○	○
	あわら市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	あわら市道路の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結について (令和3年度西口交通広場シェルター設置工事(その2))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度あわら市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
環境対策調査特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
総合交通まちづくり調査特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	

核兵器のない 世界めざして

国民健康保険税の引き下げを

核兵器のない 世界めざして

山川 1945年8月、広島・長崎に原爆が投下され、21万人以上が犠牲となり、今なお多くの被爆者が放射能の影響で苦しんでいる。「核兵器をなくせ」「広島・長崎を繰り返すな」は、多くの国民の声である。

また、国連では、「核兵器禁止条約」を50か国以上が批准し、今年1月に発効した。

しかし、日本政府はこの条約に参加していない。あわら市では平成23年6月には、議会で満場一致で「非核平和都市宣言」を決議している。条約への参加は多くの国民の声であり、これをさらに大きくしていかなければならない。そのために、「非核平和都市宣言」を市庁舎に掲示し、原爆パネル展を開催すべきと考えるがいかがか。

国民健康保険税の引き下げを

山川 「高すぎる国保税を何とかしてほしい」は多くの市民の声である。早急に資産割を廃止し、また、子育て支援の点からも均等割から子どもを除くべきと考えられている。

山川知一郎 議員
単位化となり、県は県内どこに住んでも同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料水準となるよう「保険料水準の統一化」を福井県国民健康保険運営方針に明記し、統一に向けたロードマップを令和6年度までに検討するとしています。また、資産割については、令和8年度までに廃止するとしています。均等割から子どもを除くことについては、県全体の保険料水準の統一化を図っていく過程にあることから、本市だけが除くことは適当ではないと考えています。未就学児については令和4年度以降、5割を公費負担によって軽減する予定となっています。

請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
提出者 自治労福井県本部 執行委員長 橋岡 克典
結果 採択

議員発議

※あわら市議会会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

あわら市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

趣旨 電子的に表決を採ることができるよう条件を加えることと併せ、本会議又は、委員会等に入る者の携帯品の持込みの取扱いを改めるための改正。

地方財政の充実・強化を求める意見書

結果 3案とも可決

討論

議案第52号 令和3年度あわら市一般会計補正予算(第6号)

吉崎の道の駅整備に関する経費7,700万円の増額が提案されており、計画では来場者数が年間36万人、そして、道の駅にできる売店などでの売上げは年間1億3,000万円とあるが、過大すぎるのではないかと。吉崎地区の振興策について異論はないが、大幅な見直しが必要と思う。



議会日誌

おもな会議のみ掲載

7月19日	議会運営委員会 広報編集特別委員会 議会活性化特別委員会
26日	総務厚生常任委員会 管内視察
8月28日	産業建設教育常任委員会 管内視察
6日	第108回議会臨時会
23日	議会運営委員会
24日	全員協議会
25日	議会活性化特別委員会
31日	第109回議会定例会 開会 予算決算常任委員会
9月3日	議会運営委員会
8日	一般質問
9日	一般質問
10日	総務厚生常任委員会(分科会)
13日	議会活性化特別委員会
15日	議会運営委員会
16日	産業建設教育常任委員会(分科会)
24日	産業建設教育常任委員会(分科会)
27日	予算決算常任委員会 議会運営委員会 全員協議会 本会議
10月12日	広報編集特別委員会 予算決算常任委員会(分科会)～10月4日 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議会活性化特別委員会 全員協議会
13日	第109回議会定例会 閉会
26日	議会活性化特別委員会
19日	広報編集特別委員会
26日	広報編集特別委員会

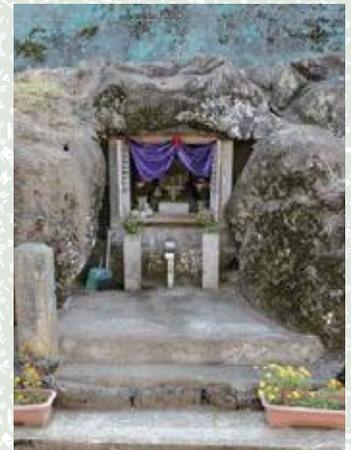
ふるさと探訪 「岩崎の観音さま」

国道305号沿いの吉崎御坊駐車場から、西別院宿泊研修センターに向かって右側の小道を少し入ると、左側の岩室に石仏群があります。これらの石仏群を吉崎の人たちは「岩崎の観音さま」と呼んで、花のお供えや掃除などのお世話をしています。

この観音さまの由来は、「金津町吉崎の郷土誌」によりますと、幕末慶応の頃、船頭詰所で、水上安全・家内幸福を願い、岩崎の岩室に観音様を安置する話がもちあがり、船頭某の枕元に女性が現れて「われは蓮如の母でござります。観音様をおまつりなさるなら、蓮如ゆかりの石山寺の観音様を安置してください」といって立ち去ったとのこと。

そこで、早速石工が近江国石山寺へ出向き、そっくりの観音様を彫刻して岩室に安置しました。また、船稼業の人達もそれぞれの願いを込めて、如意輪観音・普賢菩薩・子安観音・知恵の文殊菩薩・薬師観音・勢至菩薩など、海上安全の船霊宮の石仏を安置し、以来、毎年8月18日に観音祭りを催し、現在に伝承されています。

今年は蓮如上人が吉崎御坊を開山して550年の節目の年を迎えています。岩崎の観音さまも、令和5年春の道の駅「蓮如の里あわら」のオープンを、今から楽しみにしているかもしれません。（北浦）



編集後記

10月に入ってもまだまだ暑い日が続いていましたが、11月になり、すっかりと秋を感じる毎日となりました。

改選後、広報編集メンバーも新たに替わり、初めての「市議会だより」となりました。これからも新メンバーで力を合わせて、より分かり易い、親しみの持てる誌面づくりを目指していきたいと考えております。

さて、昨年からコロナ禍により、公式行事やイベント等がことごとく中止となる厳しい状況が続いていましたが、ワクチン接種が進み(油断は禁物ですが)、ようやく明るい兆しが見えてきた気がします。しかし、市の課題事項はまだまだ山積しています。一つ一つの課題に真摯に取り組んでいく決意です。
(室谷)

編集・発行責任者

議長 長山 田重喜

市議会広報編集特別委員会

委員長 北卯 ひろみ
副委員長 三浦 博憲
委員 青柳 篤了
委員 木下 篤二
委員 室谷 陽一
委員 平野 時夫

〃 〃 〃 〃

発行／あわら市議会 編集／あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

